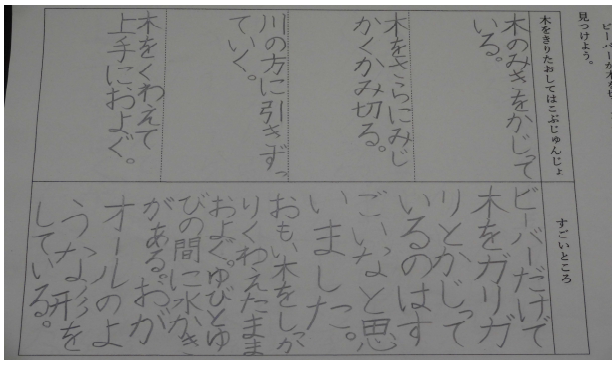
２年　国語科研究授業のまとめ（１２月１４日）

１　単元名および単元の目標

「ビーバーの大工事」（２／１６本時）

◎　大事なところに気を付けながら文章を読み，読んで調べたことをまとめることができる。



【資料１　事柄を正しく読み取るためのワークシート】

２　本研究授業の提案について

説明文において大事なところに気を付けながら文章を読ませるために，以下の二つを提案した。

(１)写真や挿絵と本文を結び付けながら大事な言葉や事柄の順序に気を付けるために，ワークシートを活用した（資料１）。事柄の順序を正しく読み取らせるために，本文にある「ビーバー」が主語になっている文に気付かせるようにし，範囲を区切って考えさせるようにした。ワークシートを使用したことにより，子供たちは迷わずに取り組むことができた。四つの枠が示してあることで，見通しを持って本文の中から探すことができた。順序を書く段階で，大部分の児童が順序について正しく捉えていたが，一文の中に順序を示す言葉が複数含まれていたものを分けずにそのまま書き抜いてしまった児童が見られた。話し合いによって修正する際に，述語になる言葉を確かめながら整理して書き直すことができた。

（２)読み取ったり気付いたりしたことを交流する活動を授業の後半に位置付け,多様な見方ができることに気付かせるようにと考えた。前半の読み取る活動において十分に時間をとり，個人で考えを書いて全体発表を行った。全体発表では意図的指名を行い，ビーバーが木を切り倒して運ぶ様子及び驚いたことや伝えたいことについて話し合った。児童は，友達の考えを聞いて自分では気付かなかった点について考えを深め，付け足したいことをワークシートに書き込んで修正していた。

以上のことから，内容や気付きについて一人一人に考えさせたり考えを交流させたりする手だては，大事なことに気を付けて読み，内容を正しく読み取る上で有効であったと考える。

３　本研究授業の授業技術課題について

（１）本時の学習活動は，木を切る順序を読み取る活動とすごいところを見付ける二つの活動であり，後者の方で主発問を行った。指導計画，本時の展開を作成する段階で単元の目標から考えると前者の活動で主発問を行うべきだったと考える。また，教師が意見をまとめて板書したが，児童自身が自分の言葉でまとめて書いていく必要性を感じた。見取り方については，見取っていく順番の計画や見取りながらワークシートに丸を付けていく方法を行い意図的指名に生かすことができた。

（２）全体交流の場面で，ビーバーの様子について驚いたことを共通理解することが弱かった。すごいと思った理由について自分の言葉で話させることやペア学習を取り入れると，より考えを広げることができたのではないかと考える。

４　今年度の研究を振り返って

今年度は物語文と説明文の研究授業を行った。どちらも読みを深めさせるための手立てとして，図やワークシートを活用する活動を取り入れてきた。想像を広げさせたり，正しく読み取らせたりする上でどちらも有効であり，今後も継続して取り入れていきたいと考える。「協働的な学び」については課題が残ったので，ペアやグループ活動の構成，共通理解や考えを広げさせていく手だてについて今後も研修を深めていきたい。